放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月29日　　事業所名　タイムこどもデイサービスゆっく

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			午後は定員3名なので十分である
	②	職員の配置数は適切であるか	○			1対1である
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		矢印や部屋の装飾等を使って構造化に工夫て いる。また玄関はバリアフリーになっていない が、台を置いたりして工夫している
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ゆっく会議を毎週行い、そのなかでパートも含め職員全体で業務改善を進めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表をもとに保護者の意向に添うよう会議等で話し合っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			3月末に法人HPに、4月にディ通信に掲載して いる
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後は外部第三者委員会を検討すべき。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			会議での研修やOTからの研修を行っている。また、内部研修・外部研修に職員は参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			中間モニタリングと作成会議をして計画を作成 している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			相談支援のものを使用しているが、今後は他も検討したい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議で皆で話し合って立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			コロナも落ち着いてきたので、今後はもっと多様な活動を取り入れたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休みにしかできないことを取り入れているが、コロナで思うように実行できなかった。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の療育・集団遊びの計画をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティングや会議でも共有する場を設けている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			報告書に気付いた点を記入して、ミーティング で話している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			チェックリストや活動報告書に記録をつけてい る。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			会議で評価を行い、必要に応じ見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			会議および面談で話し合って、必要な項目を設定して行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			要請に応じ、サービス担当者会議に児発管が 出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			１つの学校だけなので、情報共有もしやすいし、学校も会議を開いたり、メール等でもよく情報を流してくれている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在はいないが、必要に応じ連絡体制は整えていた。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		ゆっくから上がってくる子が100%なので、特に問題はない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			学校、放デイ、生活介護事業所が何回か集まって会議を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修や会議、イベント等での交流はある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		児童館には行ってるが、なかなか交流まではいかない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		昨年までは参加していたが、今年は医療的ケア児がテーマだったので参加していない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時、連絡帳、電話などで対応している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングの研修を受けて実践していきたい。
保	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際、管理者が行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時、連絡帳、電話などで対応している。場合に よっては個別に来ていただいたり、他機関とも協力しあって相談を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナで中断していた保護者会を行っていきたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
護者への説明責任等	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			本部や相談支援と連携し、迅速に行う体制が とれている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			タイム通信、デイ通信、ゆっく通信で発信して いる
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			会議等で注意を促すとともに、資料等もイニュ シャルで作成している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードや写真を使っている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ等で行事は開催できなかったが、来年度は少しずつ行っていきたい。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアルを保護者に配布し、訓練も行ってい るが、より実効性のあるものにしていきたい。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災（消防署立会）、地震訓練を年2回、防水 訓練を1回行っている
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会中心の研修、事業所会議で の話し合いを行っている。また、県や市の研修、法人研修に参加している。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正化委員会で決定している。現在は身体拘束同意書をいただく子はいない。また、会議で不適切な支援はないか？身体拘束にあたらないか？をよく話し合っている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		情報把握はしているが、おやつは持参なので医師の指示書はない
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			会議で話し合っている。ヒヤリハットになる前の事例についても、気づ きシートを作成している。